

IV 資料

資料1

中学部 将来像・年間指導目標設定シート

学年 名前

1. 対象生徒の実態

◎よさ △困っていること ・その他

<p>健康の保持</p> <p>(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整 (5)健康状態の維持・改善に関する事</p>	<p>「着脱」 「食事」 「排泄」 「健康上の配慮事項」</p>
<p>心理的な安定</p> <p>(1)情緒の安定に関する事 (2)状況の理解と変化への対応に関する事 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事</p>	<p>「苦手な状況や場面」</p>
<p>人間関係の形成</p> <p>(1)他者とのかかわりの基礎に関する事 (2)他者の意図や感情の理解に関する事 (3)自己の理解と行動の調整に関する事 (4)集団への参加の基礎に関する事</p>	<p>「仲間とのかかわり」 「集団参加」</p>
<p>環境の把握</p> <p>(1)保有する感覚の活用に関する事 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 (3)感覚の補助および代手段の活用に関する事 (4)感覚を統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事</p>	<p>「学習面（国語・算数など）」</p>
<p>身体の動き</p> <p>(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 (2)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事 (3)日常的に必要な基本動作に関する事 (4)身体の移動能力に関する事 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事</p>	<p>「体の動き（姿勢・移動）」 「手指の操作」</p>
<p>コミュニケーション</p> <p>(1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事 (2)言語の受容と表出に関する事 (3)言語の形成と活用に関する事 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事</p>	<p>「コミュニケーションの理解」 「コミュニケーションの表出」</p>
<p>特記事項</p> <p>(性格、行動特徴、興味関心など)</p>	<p>「興味関心」</p>

2. 保護者からの将来の姿、願い

家庭	職場	余暇
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

3. 学校で、自分の力を発揮して生き生きと生活している姿

家庭	職場	余暇
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

4. 「強み」の見取り

行動の基となる能力 (3と設定例を参考にしして)	強みを発揮させる支援の方法と程度 (より多くの支援者が実行可能で、必要最小限のもの)
○	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
○	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

5. 将来像 (23～25歳時の、自分の力を最大限発揮して、生き生きと生活している姿)

家庭	職場	余暇
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

6. 「弱み」の見取り 「ひきあげる力」と「おぎなう力」、その弱みへの支援・手立て

弱み		つまずき、困っていることの要因をもとにした支援・手立て
ひきあげる力	○	・ ・
おぎなう力	○	・ ・

7. 「強み」と「弱み」をもとにした「指導仮説」と、「長期目標」「年間指導目標」の設定

	理解・行動（自立）に関するもの	コミュニケーション・人とのかかわり（社会参加）に関するもの
指導仮説	①どのような支援をどの程度することで、②どのような力が発揮され、 ③どのような期待する姿となるか	
	①	①
	②	②
	③	③
長期目標	中学部卒業時に目指す姿	
年間指導目標	1年後に目指す姿	

「行動の基となる能力」の例

①理解・行動に関する力	②人とのかかわり・コミュニケーションに関する力
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって活動する力 ・やりとげようとする力 ・すすんで活動に取り組む力 ・目標を意識する力 ・状況を把握し行動する力 ・人のために行動できる力 ・活動を継続する力 ・複数工程を理解する力 ・手順の多い活動を理解する力 ・好きなことに集中して取り組む力 ・人の動きや言葉/音からやるべきことがわかる力 ・言葉や文字をもとに理解し見通しをもつ力 ・見本や手本を見て、活動を理解し行動する力 ・称賛される喜びを行動につなげる力 ・褒められることを励みに取り組む力 ・言葉かけや声援を意欲につなげる力 ・繰り返すことで活動を理解し取り組む力 ・見本や手本から活動を理解し行動する力 ・自分の役割を正しく行おうとする力 ・自分の役割に進んで真面目に取り組む力 ・理解した活動に自分から取り組む力 ・達成感を次の活動のモチベーションにできる力 ・指示やアドバイスを受け入れる力 ・良し悪しを判断して取り組める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・人とかかわろうとする力 ・人と言葉でやりとりする力 ・言葉を用いて、人とかかわる力 ・人とのかかわり、集団での活動を楽しむ力 ・人に働きかける力 ・人にはたらきかけ、自分の気持ちを伝える力 ・人との関わりを楽しむ力 ・人に積極的に関わる力 ・必要な支援をもとめる力 ・自ら人にかかわる力 ・人に意思を伝える力 ・相談・確認をする力 ・指示やアドバイスを受け入れる力 ・言葉かけに応じる力 ・他者に要求を伝え、頼ることができる力 ・思いを伝える力

「強み」として、活かす・伸ばす

「ひきあげる力」「おぎなう力」の例

ひきあげる力	おぎなう力
<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感/自己効力感の向上 ・要求を伝える力 ・自分の意志や要求の伝え方 ・自分の思いを言葉にする力 ・周りの様子を見る力 ・自分の思いの伝え方（理由） ・コミュニケーションのとり方 ・会話スキル ・相手の感情の読み取り ・自信や意欲 ・注意集中の持続 ・注意集中の持続（心理的安定） ・状況の理解と変化への対応 ・気持ちの切り替え ・成果の精度 ・正確性（身体の動き・巧緻性） ・見通しをもつ力（見通しがもてないことへの不安感） ・初めて一人で取り組むことへの躊躇 ・状況に応じたコミュニケーション ・相手や状況に応じた言葉遣いや態度 ・（わからなくなってしまったとき）自分の行動の特徴を知ること ・（気持ちなど）自分の思いを伝える言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムや生活習慣 ・手指の巧緻性 ・手指の操作性 ・意思・要求の表示の方法 ・自己の理解と行動の調整 ・相手の感情の読み取り ・他者の感情理解の苦しさ ・他者の意図や感情の理解 ・言葉の理解と表出の差 ・言語の形成と活用 ・音声の不明瞭さ ・構音の課題 ・聴覚の過敏性 ・音への過敏性 ・視覚的情報処理 ・視覚空間認知 ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成（時間・お金） ・意思の表出（コミュニケーション） ・感覚や認知の特性の理解（記憶、指示理解、気持ちや行動の調整） ・高さや凹凸の感覚 ・空間認知の偏り ・安感、自信のなさ ・活動へのこだわり ・不安感 ・情緒の安定 ・場面による受け入れの幅 ・活動への不安感 ・過敏性 ・行動の調整（人間関係の形成） ・行動の調整（ひとりごと） ・生活習慣の形成（健康の保持） ・癲癇発作 ・排泄の課題

「ひきあげる力」として、課題や目標として伸ばす

「おぎなう力」として、課題にはせず、支援・配慮する

資料2

学習と指導の評価シート

月 日 () 授業時数 /
対象生徒 ()

1. 展開

	活動内容	概要
導入		
活動		
まとめ		

2. 学習内容 段階表

年間目標①	
後期目標①	
単元目標①	

時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	単元目標①									
指導・支援										
教科の内容										
本時の姿										

年間目標②	
後期目標②	
単元目標②	

時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	単元目標②									
指導・支援										
教科の内容										
本時の姿										

3. 指導の振り返りシート

		項目	Check	コメント	次時（次単元）での支援
取り組 みのた めの支 援	アクセ スする	①興味を持てるように支援したか。 例：好み、既知の題材を行う。関係性や価値、真実味を最適にする。不安要素や気をそらすものを最小限にする。			
	積み 上げる	② 努力や頑張りが続けられるよう支援したか。 例：目標を目立たせる。丁度良い難易度にするために、レベル、道具を変える。協働させる。			
	自分 のもの にする	③自分の興味関心や頑張れる方法を知り、自分で取り組めるよう支援したか。 例：自己評価と内省を促す。活用すると良い方法を示す。頑張ることの価値を伝える。			
理 解の ため の支 援	アクセ スする	④受け入れやすい手段や方法で提示をしたか。 例：聴覚・視覚両方で提示する。文字・絵・イラスト・音声言語・指差し等、個の認知に応じた方法で提示する。			
	積み 上げる	⑤理解しやすい様式や形式の教材で提示したり、提供したりしたか。 例：図・動画で示す。ワークシートで示す。場、時間などを構造化して提示する。			
	自分 のもの にする	⑥自分の理解しやすい方略を知り、提供することを要求するよう支援したか。 例：自分のやりやすさ、難しさを教員に伝えるように促す。			
行 動と 表 出の ため の支 援	アクセ スする	⑦表出や行動がしやすい方法を提示したり、提供したりしたか。 例：iPad（アプリ）を用意する。椅子を変える			
	積み 上げる	⑧表現や行動がしやすい方法を自分で使えるように支援したか。 例：iPad・口頭・サイン・筆記どれで応答しても良いようにする			
	自分 のもの にする	⑨自分で計画や方略を立てたり、自分で扱いやすいように工夫したりすることができるように支援したか。 例：自分で効率を考えるよう支援する。やりやすいよう道具をカスタマイズさせる。			